

【運営方針】

「少しでも 長く元気で 自分らしい生活を」

【基本方針】

介護の原点に戻り、ふるさとの理念に基づいたサービスの質の向上に取り組む
安心して生活できる施設、安心して働ける職場を目標に、より良い人間関係の構築に
努める

【年間目標】

- ① 感染症・災害発生時の対応力の強化
- ② 稼働率の向上（稼働率 97.5%）
- ③ 自立支援、重度化防止の取組推進
- ④ 介護・医療・家族の連携
- ⑤ 介護人材の確保、現場の革新

【実践報告】

① 感染症・災害発生時の対応力の強化

- ・ R4年6月に感染症に対する職員研修を実施。R4年7月26日に職員2名のコロナウイルス感染者が発生し、R4年8月1日にご入居者1名の感染が判明。その後職員・ご入居者に感染が拡大し、最終的にご入居者11名・職員10名が感染。以降、コロナウイルス感染者は発生していないが、感染者対応を経験した事により発熱者が発生した際の必要物品の準備、居室対応の手順をスムーズに行えるようになった。
- ・ 部署内の連絡ツールでLINEWORKSを導入。災害訓練時の安否確認方法に活用し、災害が発生した際や、他緊急時の連絡手段として使用する見通しが立った。

② 稼働率の向上（目標稼働率 97.5%）

- ・ 年間稼働率は96.7%となり、昨年比3.6%増。しかし目標値には届かず。空床の内訳は以下の通り

空床理由	空床数（昨年比）	パーセント
入院	265（-242）	1.81%
完全空床	157（-267）	1.07%
その他（入退去時の入れ替わり）	59（-23）	0.4%
合計	481（-532）	3.29%

- ・ 入院による空床は昨年度と比べて242床減少。入院者延べ13名。
- ・ 退去者数8名（令和3年度15名）
退去者内訳：施設での逝去7名（内ターミナル対応4名）、入院中の逝去1名。

退去者の平均年齢：94.1歳。

- ・令和3年度はコロナウイルス蔓延による入居控えが目立ったが、令和4年度は入居希望者が増え、特別養護老人ホームのショートステイ床を活用する事でスムーズな入居に繋げる事ができた。

【令和4年度月別稼働状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
平均 利用 人数	38.7	37.1	36.8	38.4	38.0	38.1	38.6	38.5	40	39.2	39.7	39.7	38.5
平均 稼働 率	96.9	94.4	92.2	96.2	95.2	95.4	96.5	96.3	100	98.1	99.3	99.4	96.7
平均 要介 護度	1.82	1.74	1.74	1.72	1.83	1.89	1.86	1.74	1.74	1.79	1.79	1.79	1.74

③ 自立支援、重度化防止の取組推進

- ・朝のラジオ体操後に定期的なレクリエーションの時間を設ける予定であったが、具体的な策を講じる事ができず、定期的には実施する事が出来なかった。次年度は限られた時間を有効的に使い、楽しみを提供していく。
- ・1日の水分摂取量1500ccを目標に設定し、水分摂取量の向上に努めたが目標には届かなかった。しかし職員の意識向上により水分摂取量は向上し、入院期間の短期化に繋がっていると思われる。
- ・コロナ禍ではあったが昨年度より外出行事や施設内行事を充実させた。施設生活が少しでも有意義なものになるよう、12月より移動販売（とくし丸）を導入。当初は月1度の予定であったが、好評の為2月より月2回実施している。

（令和3年度実施外出行事・施設内行事）

4月	お花見（妙法寺川公園）
5月	須磨寺外出、感謝の日（天ぷら実演調理）
6月	舞子公園外出、食事会（お好み焼き実演調理）
7月	マリンピア外出、食事会（中華バイキング）
8月	ケアハウス夏祭り *感染拡大の為、外出は行わず
9月	ビアガーデン *感染拡大の為、外出は行わず
10月	明石天文科学館外出、ランタン作り
11月	明石公園菊花展外出、スイーツバイキング、たこ焼き
12月	忘年会、お楽しみ会、移動販売
1月	お茶会、移動販売

2月	スイーツレクリエーション、移動販売
3月	大蔵海岸ドライブ、ホワイトデー、

④ 家族・医療・介護の連携

- ・受診時の結果報告や、往診時の服薬変更については漏れなくご家族に状況を報告。こまめに連絡を入れる事で苦情を受けることは無かった。
- ・年度当初は医療連携加算の算定者が36名であったが必要に応じて主治医の変更を行い、年度末は39名の方の医療連携加算を算定。また従来からおられる方2名の主治医に往診を依頼。新規入居の方の主治医を往診医に変更する事で34名の方が往診で対応。緊急時やターミナルケア対応時の体制を整える事ができた。

⑤ 介護人材の確保、現場の革新

- ・新人職員を指導する職員向けのマニュアルを整備する予定であったが具体的に整備する事ができなかった。
- ・部署内の連絡手段にLINEWORKSを導入し活用。ワクチン接種の予定等、施設での連絡事項をLINEWORKSを活用する事で漏れなく速やかに周知徹底する事ができた。
- ・現在使用しているインカムを感染症発生時に申し送りのツールとして活用。対面での申し送り、職員の移動を避ける手段として使用する事で、ある程度の感染拡大防止に効果はあったと思われる。

【神戸市への報告を必要とした事故】

報告件数：2件

報告内容

(令和4年8月13日5時15分発見 要介護1 男性 認知症自立度Ⅱa)

5時15分居室のトイレコールが鳴り職員が訪室。トイレ便器を前に長座位で床に座っておられる姿を発見。野村海浜病院にお連れし診察の結果、左大腿骨転子部骨折との診断。手術を行い、令和4年9月14日施設に戻られる。

(改善内容)

職員による清掃を拒否される事が多く、居室内に物品が散乱している事が多かった。生活範囲の動線が確保できるよう、ご本人に確認しながら清掃を行う。

(令和4年9月1日23時40分発見 要介護2 男性 認知症自立度Ⅱb)

23時40分センサー(眠りスキャン)のモニターに本氏の姿が確認できず職員が訪室。タンスの前で下半身は何も履かずに横になっている氏を発見。右腰から右足にかけての痛みを訴えられ、救急車で百年記念病院に受診。診察の結果、右足大腿骨転子部骨折の診断。手術を行い、令和4年9月16日施設に戻られる。

(改善内容)

室内移動は自立されており行動把握の為にセンサー(眠りスキャン)を使用してい

たが、アラート設定を行っていなかった。ベッドからの離床時の対応が遅れてしまわないようアラート設定を行う事で安全に介助を行う事ができている。

【苦情件数】

苦情件数：0件